

い つ し よ に

考 え て

み ま せ ん か ?

～ これからの武蔵野市の学校～



▲第四期武蔵野市
学校教育計画本文

今、武蔵野市立小・中学校には
8,000人以上の子どもが通ってい
ます。その全ての子どもにとって「学校
がよりよい居場所になってほしい」と
願い、武蔵野市教育委員会は、令和7
年度から5年間で進める「第四期武蔵
野市学校教育計画」をつくりました。

教育委員会は、学校の先生と力を合
わせ、この計画を進めていきます。多
くの方のご意見をもとにつくられた計
画を実現するために、家庭や地域、関
係者のご協力や学校の主人公である子
どもたちのアイデアや力が必要です。

このリーフレットを読み、武蔵野市の
学校で、これからどんなことをしてみ
たいか、いっしょに考えていきましょう。



武蔵野市の学校教育がこれから 大切にしていきたいこと(教育理念)

みなさんは、どんなときに
「うれしいな」「幸せだ」と感じますか？



「うれしいと感じるとき」や「幸せの考え方」は、人それぞれ違
いますよね。

一方で、世界には^{まず}貧しさ・^う飢え・差別など、つらい思いをしている
人が、数多くいます。

こうした中で、「物の^{ゆた}かさ」だけでなく、心や体の健康、日々
の幸せや生きがいなど「心の豊かさ」を大切にする「ウェルビー
イング」という考え方が広がっています。

わたしたちは、学校教育を通して「自分の幸せはもちろん、友だ
ちなど他の人の幸せを大切にしてほしい」「幸せの輪を家庭や^{ちが}地域
に広げ、豊かな社会をつくりたい」と願っています。そこで、「こ
れからの教育の考え方」として、

自他の幸せと豊かな社会を実現する
未来の^{じっげん}創り手を育む

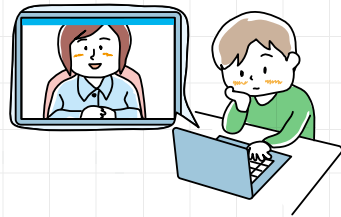
ことを大切にしたいと考えています。

☑ 方針① 小・中学生の成長や学びを支える土台づくりを大切にします

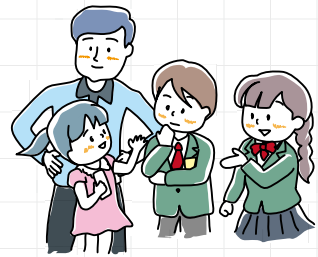
例えば、こんなことに取り組みます



家の人や地域の人と、学校の目標や学校でチャレンジしたいことを話し合います。(小・中学生のみなさんにも参加してもらいたいと考えています)



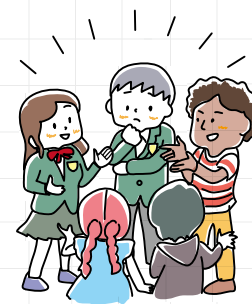
学習者用コンピュータでできることをさらに研究します。(一人ずつに合わせた問題作り、オンライン悩み相談など)



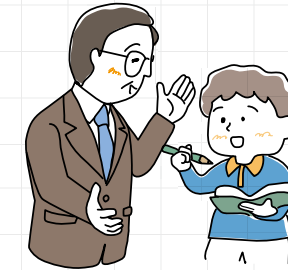
小学校から中学校に安心して進学できるように、先生同士の話し合いや子ども同士の交流を進めます。

☑ 方針③ 小・中学生の「○○をやりたい!」という主体性を大切にします

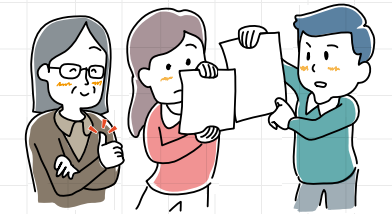
例えば、こんなことに取り組みます



学級や学校をよくするための、子ども中心の話し合いをもっと行います。(例えば運動会などの学校行事に、児童会や生徒会にもっと関わってもらうなど)



まちや社会をよりよくするために、自分たちにできることを考え、行動する学習を進めます。(武蔵野市民科など)



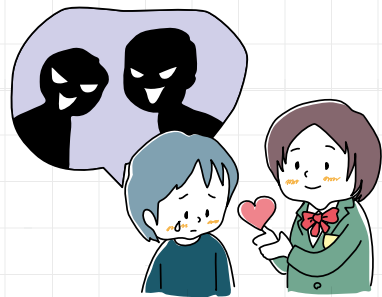
先生たちにも、学校をよりよくする取組や工夫を考え、挑戦してもらえるようにします。

「自他の幸せと豊かな社会を実現する 未来の創り手を育む」

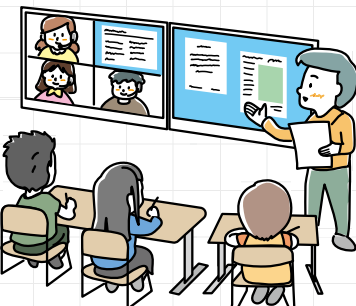
そのために、**3つ**の方針を進めます

☑ 方針② 小・中学生が自分の人生を切り拓いていけるよう、自信と意欲を育みます

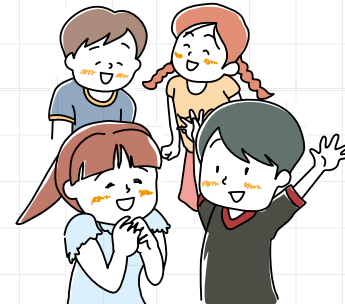
例えば、こんなことに取り組みます



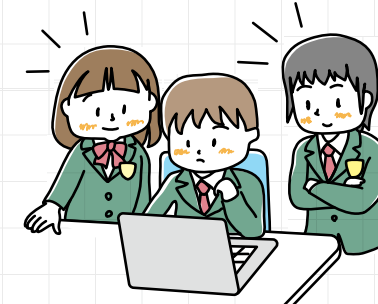
「いじめを絶対に許さない」など、子どもの権利を守って安心して学べるようにします。



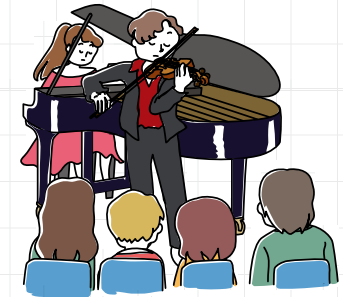
学校に行きづらいときの居場所づくりや、勉強に集中できる教室の環境づくりを工夫します。



自分の大切さと他の人の大切さを認める学習を大切にします。



勉強したことを生活につなげる学習や「なぜ?」「どうして?」と問題を発見する学習を大切にします。



プロの演奏を聞く、スポーツ選手や外国人と交流するなど、色々な体験や交流ができるようにします。

3つの方針は、それぞれ関わり合いながら理念の実現に向かっていきます。

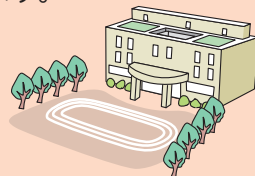
こんな取組がすでに始まっています

「第四期武蔵野市学校教育計画」は、令和7年度からの計画ですが、すでに始めている取組もあるので紹介（しょうかい）します。「自分たちも〇〇ができるかもしれない」というヒントにしてください。

学校をよりよくするための話し合い（開かれた学校づくり協議会）



- 各学校には、校長先生、お家の人、地域の人、その学校の卒業生など、色々な人で「学校をよりよくするために何ができるだろう」と話し合う「開かれた学校づくり協議会」という会があります。
- 話し合いの結果、例えば、授業のゲストティーチャーや部活動に協力したり、「子どもたちの意見も聞いてみたい」と子どもと意見交換をしたりした学校もあります。



学習者用コンピュータや図書館などを使った一人一人に合った学習や学び合い



- これからの社会は細かいことを覚えるだけでなく、学んだ知識を生かすことが大切です。
- そこで、学習者用コンピュータや図書館などを活用し、自分に合った学習方法を自分で選ぶ、意見や調べたことを共有したり、話し合ったりするといった学習を、学年に合わせて進めています。



まちや社会をよりよくするために、できることを考え、行動する（武蔵野市民科）



- 武蔵野市民科は、総合的な学習の時間と教科などを組み合わせた武蔵野市独自の取組です。（小5以上で実施）
- 例えば、次のような取組をしている学校があります。
 - ・エコバックを自分たちで作成・販売し、利益を緑の募金に寄付した小学校
 - ・地域の店と協力して、まちの魅力を発信するイルミネーションやタウン誌をつくった小学校
 - ・まちを調査したことをもとに、市長への提言を毎年行っている中学校（吉祥寺駅周辺でのベビーカーの貸し出し、放課後の学校図書館利用などが実現）



誰もが幸せで豊かな社会を実現するために、
武蔵野市の学校でどんなことができるか
友だち、先生、家庭、地域の人たち…
みんなで話し合っていきませんか？